

# 人生100年時代

人生百年時代とは、平均寿命の伸長により100歳まで生きることが珍しくない長寿社会を指す言葉です。

これを聞いて100年もあると思うのか、100年しかないと考えるのか受け止めは人それぞれです。

100歳のあなたを想像してみてください。経験は豊かでも出来ることには限りがあります。

生まれたばかりのあなたは、とても未熟で無垢ですが、限らない可能性を秘めています。

それでも、一人前と言われ、人生を謳歌出来る時間には限りがあります。

不老不死の肉体と精神を手に入れることが出来れば、時間を気にすることが無くなり、他人に嫉妬したり、羨ましがったりする必要もなくなるでしょう。

限りある人生の中で、生き急いでしまうと、自分を見失い、他人をやっかんだり、他人の自由を妨げたりしてしまうこともあるでしょう。

他人といえども、同じ時間を生きる人間同士ですが、思いや考え方は様々です。それぞれの抱える事情も異なる事でしょう。

しかし、他人の自由を奪い、蔑み、排除し、平和を脅かす権利までは与えられていません。

他人を気にせず、自由で、心豊かな人生を送るためには、人生100年もあるという「心のゆとり」を持つことが、己の差別心の芽を摘んでくれる生き方につながっていくのです。

「ワークライフバランス」という言葉があります。仕事と生活のバランスを保とうという考え方ですが、「ワークとライフとライク（趣味）」の3つの均衡を図る人生がもっと豊かで、社会的資源が充実した私たちの時代の新しい生き方なのかも知れません。

特に趣味のない館長

